

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【公開番号】特開 2015-186931 (P2015-186931A)

【公開日】平成 27 年 10 月 29 日 (2015.10.29)

【年通号数】公開・登録公報 2015-066

【出願番号】特願 2014-64323 (P2014-64323)

【国際特許分類】

B 6 2 D 33/04 (2006.01)

B 6 0 J 7/08 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 33/04 A

B 6 0 J 7/08 P

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 17 日 (2017.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウイング車両の荷箱における前後に位置して対峙する前部門構体及び後部門構体に、それぞれ取り付けられるサイドレールの取付構造であって、

前記前部門構体は、上下方向に延びる前部門構側部ピラー及び該前部門構側部ピラーの下端に接続され左右方向に延びる前部フレームを備え、

前記前部門構側部ピラーの下方に、前記サイドレールの前方への移動を規制する第 1 前部規制部と、前記サイドレールの前部の左右方向内側への移動を規制する第 2 前部規制部とが設けられ、

前記サイドレールは、その前端面が前記第 1 前部規制部に当接して、また、その前部の内側面が前記第 2 前部規制部に当接して、さらに、その前部の上面に前記前部門構側部フレームの下端が載せられるようにして位置決めされて、前記サイドレールの前端が前記前部門構体に取り付けられていることを特徴とするサイドレールの取付構造。

【請求項 2】

前記第 2 前部規制部は、前記前部フレームの左右方向端部に接続されるピラーブラケットの一部であることを特徴とする請求項 1 に記載のサイドレールの取付構造。

【請求項 3】

前記第 1 前部規制部は、前記前部門構側部ピラーから連続して一体的に構成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のサイドレールの取付構造。

【請求項 4】

ウイング車両の荷箱における前後に位置して対峙する前部門構体及び後部門構体に、それぞれ取り付けられるサイドレールの取付構造であって、

前記後部門構体は、上下方向に延びる後部門構側部ピラー及び該後部門構側部ピラーの下端に接続され左右方向に延びる後部フレームを備え、

前記後部門構側部ピラーの下方に、前記サイドレールの後方への移動を規制する第 1 後部規制部と、前記サイドレールの後部の左右方向内側への移動を規制する第 2 後部規制部とが設けられ、

前記サイドレールは、その後端面が前記第 1 後部規制部に当接して、また、その後部の

内側面が前記第２後部規制部に当接して、さらに、その後部の上面に前記後部門構側部ピラーの下端が載せられるように位置決めされて、前記サイドレールの後端が前記後部門構体に取り付けられていることを特徴とする記載のサイドレールの取付構造。

【請求項５】

前記第１後部規制部及び前記第２後部規制部は、前記後部門構側部ピラーから連続して一体的に構成されることを特徴とする請求項４に記載のサイドレールの取付構造。

【請求項６】

前記サイドレールの前記前部門構体との取付部位は閉断面で構成され、

また、前記サイドレールの前記後部門構体との取付部位も閉断面で構成されることを特徴とする請求項１～５のいずれかに記載のサイドレールの取付構造。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明は、上記課題を解決するための手段として、請求項１に記載した発明は、ウイング車両の荷箱における前後に位置して対峙する前部門構体及び後部門構体に、それぞれ取り付けられるサイドレールの取付構造であって、前記前部門構体は、上下方向に延びる前部門構側部ピラー及び該前部門構側部ピラーの下端に接続され左右方向に延びる前部フレームを備え、前記前部門構側部ピラーの下方に、前記サイドレールの前方への移動を規制する第１前部規制部と、前記サイドレールの前部の左右方向内側への移動を規制する第２前部規制部とが設けられ、前記サイドレールは、その前端面が前記第１前部規制部に当接して、また、その前部の内側面が前記第２前部規制部に当接して、さらに、その前部の上面に前記前部門構側部フレームの下端が載せられるようにして位置決めされて、前記サイドレールの前端が前記前部門構体に取り付けられていることを特徴とするものである。

請求項１の発明では、サイドレールの前端面を第１前部規制部に当接させて、サイドレールの前部の内側面を第２前部規制部に当接させて、さらに、サイドレールの前部の上面に前部門構側部フレームの下端を載せるようにして、サイドレールを位置決めした後、前部門構側部ピラーとサイドレールとを補強部材により接続することで、サイドレールの前端を前部門構体に容易に取り付けることができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

請求項４に記載した発明は、ウイング車両の荷箱における前後に位置して対峙する前部門構体及び後部門構体に、それぞれ取り付けられるサイドレールの取付構造であって、前記後部門構体は、上下方向に延びる後部門構側部ピラー及び該後部門構側部ピラーの下端に接続され左右方向に延びる後部フレームを備え、前記後部門構側部ピラーの下方に、前記サイドレールの後方への移動を規制する第１後部規制部と、前記サイドレールの後部の左右方向内側への移動を規制する第２後部規制部とが設けられ、前記サイドレールは、その後端面が前記第１後部規制部に当接して、また、その後部の内側面が前記第２後部規制部に当接して、さらに、その後部の上面に前記後部門構側部ピラーの下端が載せられるように位置決めされて、前記サイドレールの後端が前記後部門構体に取り付けられていることを特徴とするものである。

請求項４の発明では、サイドレールの後端面を第１後部規制部に当接させて、サイドレールの後部の内側面を第２後部規制部に当接させて、さらに、サイドレールの前部の上面

に後部門構側部ピラーの下端を載せるようにして、サイドレールを位置決めした後、後部門構側部ピラーとサイドレールとを補強部材により接続することで、サイドレールの後端を容易に後部門構体に取り付けることができる。